

「元祖いちご煮・階上早生」復活による地域活性化事業

自治体情報

人口 14,794人

標準財政規模 3,342,948千円

担当課 青森県 階上町 産業振興課

電話番号 0178-88-2116

ホームページ <http://www.town.hashikami.aomori.jp/>

事業期間 平成19年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取り組みに至る背景

本町は、いちご煮発祥の地とされており、また、そばでは本県で唯一の奨励品種に指定されている「階上早生」のふるさともある。近年、いちご煮は材料のウニ・アワビの量が少なくお吸物になってしまい、一方階上早生も作付けが激減するなど、どちらも発祥地としての危機感が募る状況となっている。

2 事業内容（目的・目標・方策）

いちご煮及び階上早生そばを階上の味として復活させ、地域ブランドとして確立することにより、観光、食品、飲食、農漁業等関連産業の振興と地域の活性化を図ることを目的とする。

① 「元祖いちご煮」普及事業

- ・資源確保のため、階上漁業協同組合が行うウニ、アワビの稚貝放流に対して補助。
- ・海岸の昔ながらの名称や海でのルールを明記したパンフレットを作成し、自然保護や環境に対する意識を啓発。
- ・いちご煮祭り等でのPR。

② 「階上早生・階上そば」のブランド化

- ・階上そば振興委員会の設立、純粋な種で遊休耕作地利用の生産供給体制を確立。
- ・商標登録し、旗・チラシの作成、そばタレの開発で地元での消費拡大に努めた。
- ・石臼製粉機等を導入し、地元産そば粉と手打ちそばの供給、販売。
- ・新そば祭、そば打ち講習会や加工品コンクールの開催、近隣市町とのそばフェスタで積極的なPR展開し、ブランドの知名度アップ

3 施策の開始前に想定した事業効果

階上の名を冠する「階上早生そば」の普及や郷土料理の「いちご煮」が広く知れ渡ることは、地元に対する愛着心や活性化が期待される。



4 導入にあたり工夫・苦勞した点、課題、対処法など

- ①いちご煮は食材が高価であることから、その資源確保のために稚貝放流に対して補助することとした。
- ②そばは、後継者不足や従事者の高齢化という厳しい状況の中、組織体制の確立が必須であった。早生そばを安定供給するため、遊休耕作地を活用した。



5 現在の成果・実績、今後の展開など

- ①「元祖いちご煮」は、毎年開催の「いちご煮祭り」で新たなファンが増え、地元産の安さと新鮮さ、期間限定が消費者の心を射止めている。環境問題や食に対する意識が向上してきている現在では、海に対する地元の関心も高くなり、海岸清掃をはじめ豊かな海を守り、次世代に伝えることで意識も向上してきている。今後も事業継続が必要である。
- ②階上町民の生産者・流通関係者等有志からなる「階上そば振興委員会」が、町の名前を冠し、町固有のそばの品種である「階上早生」を生産することは、耕作地の遊休荒廃化を防止し、農業振興が図られる。そばを通じて、ふるさと（地域）のあり方を提起する機会が増え、ふるさとに対する愛着心の醸成にもつながり、農林水産業の振興とともに、町民による地域活性化の推進力になっている。町内での提供店拡大や都市での販路拡大、生産に要する乾燥機器整備が課題である。



予算関連データ 階上町

総額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
29,082千円		0千円	8,762千円	0千円	20,320千円	0千円
①～④の名称・所管等	名称		青森県市町村発・元気なあおもりづくり支援事業			/
	所管		青森県三八地域県民局			
	金額		8,762千円			
	補助率		1/2			